

危機管理マニュアル (地震・風雨災害)

山江村立山田小学校 令和2年度版

<マニュアル最終確認日>

校長 内田 正紀	2020年 6月 17日
教頭 池田 幸彦	2020年 6月 17日
防災主任 梅田 知明	2020年 6月 17日

≪昨年度からの変更点≫※職員会議からの変更点は波線

①休日夜間の参集条件の変更

②「6 緊急時引き渡しの方法」の変更

(並び方を地区ごとにする。事前に緊急時引き渡しカードを配布する。)

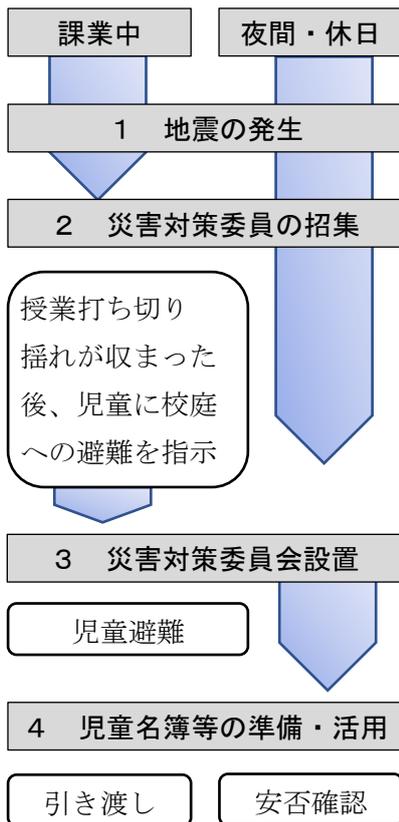
③「災害発生時の学校職員参集状況」の変更

1 作成の目的

- (1) 学校における地震・風雨災害発生時の対応策について教職員の役割等を明確にし、学校防災体制を確立する。
- (2) 家庭や地域、関係機関等に周知し、地域全体で地震災害に対する意識を高め、体制整備の構築、推進を図る。

2 緊急災害対策本部の設置（速やかな災害への対応）

山田小学校では、震度5弱以上の地震が発生した場合には、速やかに校内災害対策本部を設置し、職員は迅速に対応します。



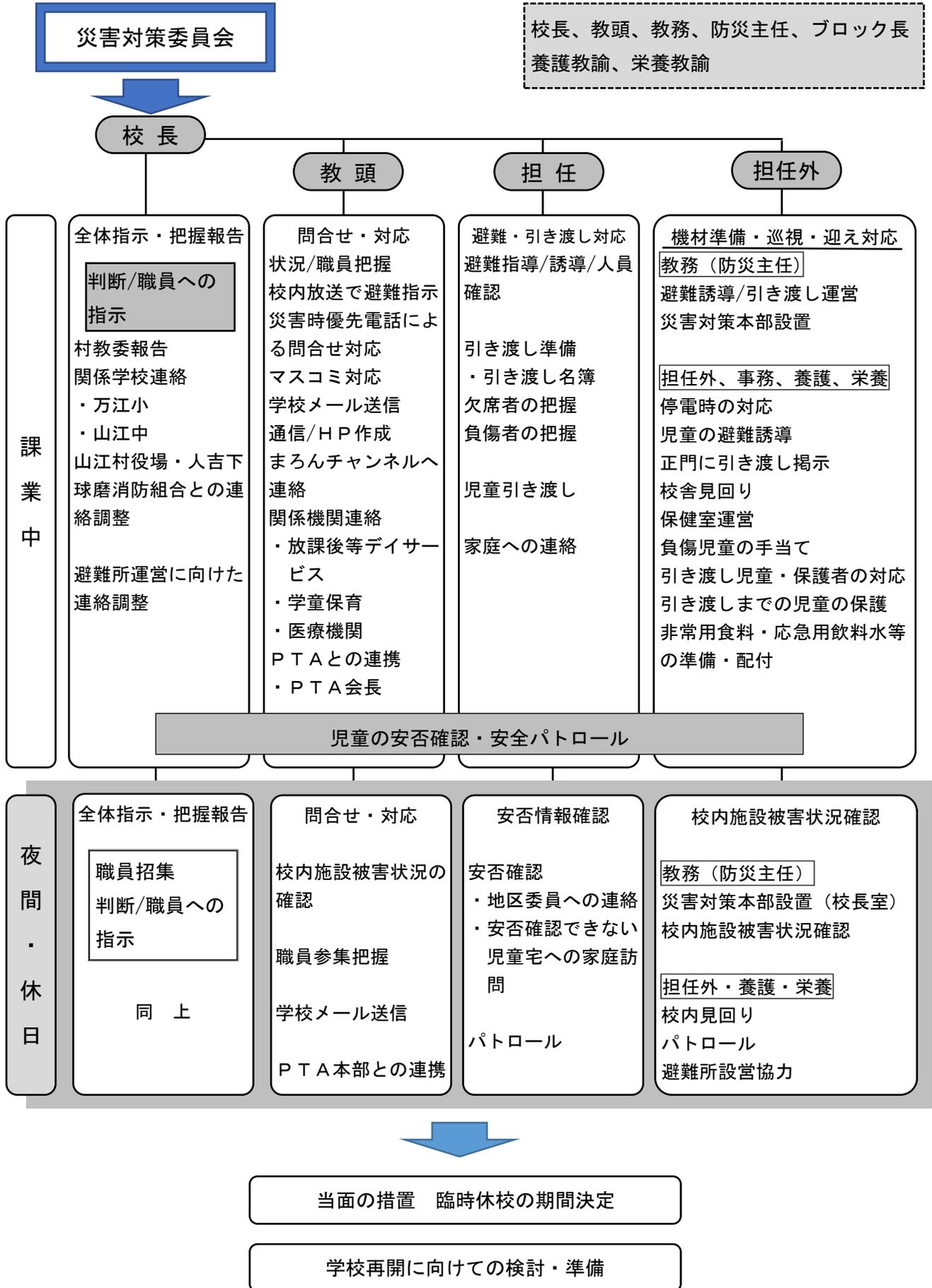
○防災対策委員会の設置

○校長・教頭・教務・防災主任・ブロック長、養護教諭・栄養教諭による災害対策委員会を招集

○課業中 → 安全確保後に避難、保健室で負傷児童の手当て

○夜間・休日 → 職員参集、施設の安全点検

3 防災組織と地震発生時の対応



4 職員の指導・参集体制

(1) 課業中に大地震が発生したときの学校・職員の指導の流れ

	校長・教頭	教職員	児童
一次行動	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">緊急地震速報の受信</div> <p>*とっさに身を守る行動をする。 *危険なところから離れる *頭を守り、大きな揺れに備える姿勢をとる</p>		
二次行動	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">  震度 5 弱以上の地震発生 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">避難命令</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">地震情報の収集</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ①震源地 ②余震の可能性 ③地域の被災状況 ④山江中学校区の状況 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">災害対策本部設置</div> <p>* P T A 会長へ引き取り実施連絡</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">児童引き取りメール配信</div> </div> <div style="width: 50%;"> <p>*校内放送による避難の指示 (歩行中の児童は近くの教室へ) *職員は各教室に急行し児童を確認・掌握 *火元の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">避難誘導・避難確認</div> <p>*停電時は、職員室待機職員が避難場所と避難経路を指示 *放送の指示に従い児童を掌握し避難経路を指示 *停電時は近くの職員が避難の誘導にあたる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">人員点呼による避難の確認</div> <p>*児童数確認 ➡ 報告 ➡ 不明者残留児童救出</p> </div> </div>		
三次行動	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">保護者への児童の引き渡し</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">教育委員会への状況報告</div> <p>*引き渡しまでの児童の保護</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>児童の引き渡し方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教室待機の場合 保護者は正面玄関から靴をもって入り、児童靴箱から出る。 2 体育館待機の場合 児童は登校班ごとに並ぶ。保護者は体育館入り口扉から入り、真ん中の扉から出る。 3 運動場待機の場合 児童は学年毎ごとに並び、保護者が来たところから下校する。 </div>		
四次行動	避難所開設初期対応への協力		
五次行動	学校再開に向けての準備		
六次行動	学 校 再 開		

(2) 夜間・休日に大地震が発生した場合の職員の参集体制、配備体制

	校長・教頭	教職員
一次行動	 震度 6 弱以上の地震発生	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">山田小へ参集する</div>	自宅や家族の被災状況を確認した後、学校へ参集する準備をする
二次行動	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> ①児童・保護者の安否確認 ②教職員の安否確認 ③災害状況の確認 ④校内・通学路の被害状況確認 ⑤教育委員会への報告 </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> できるだけ早く参集し 初期対応する </div> 参集メールを受信した場合は返信する
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> ①校内巡視 <ul style="list-style-type: none"> ・校内安全確認 ・施設の被害状況確認 初期対応する ②児童の安否確認 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の安否確認 (地区長からの連絡を待つ) ・連絡がつかない児童宅へ家庭訪問する ③学区巡視 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の被災状況確認 ・避難場所の確認 </div>
三次行動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">災害対策本部の設置・災害対策委員会の招集</div>	
四次行動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">避難所開設初期対応への協力</div>	
五次行動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">学校再開に向けての準備</div>	
六次行動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">学校再開</div>	

5 大地震が起きたときの学校・家庭の対応

大きな地震（震度5弱以上）が起こったら、山田小では次のように行動する。

児童が **学校** にいるときの対応

➡自動的に児童は引き渡し

学校・児童

- ①揺れが収まるまで安全を確保
- ②児童は教師の指示で校庭に避難
- ③引き渡しメール発信
- ④児童の引き渡し
荒天時は余震・校舎内の被害状況を確認し教室で待機する
※迎えが来ない児童は一時学校で保護する

児童が **家** にいるときの対応

➡自動的に児童は自宅待機

学校

- ①自宅待機メールを発信
- ②情報収集と学校再開に向けて関係諸機関との調整

家庭・児童

- ①学校メール、防災無線、まろんチャンネルで状況把握
- ②登校班で連絡を取り合い学校再開の連絡を待つ
- ③地区委員及び地区長は児童の安否を確認し、学校へ連絡

地震発生！（震度5弱以上）

児童が **登・下校中** の場合の対応

➡自動的に児童は引き渡し

児童

- ①揺れが収まるまで、その場で安全確保
- ②揺れが収まったら、児童は登校班で学校か家の近い方に移動
- ③家に帰っても家族がいない場合は書き置きをして大人のいる安全な場所に避難

学校

- ①揺れが収まるまで安全を確保
- ②在校児童を校庭に避難させ、在校児童、登下校中の児童の安否確認
- ③引き渡しメール発信
- ④児童の引き渡し
※迎えが来ない児童は一時、学校で保護する
- ⑤学校職員は児童の安否確認をし、地区をパトロールする

家庭 の対応

- ①学校メール、防災無線、まろんチャンネルで状況把握



メールが発信
されなくても

登校中なら

- ②通学路を安全確認しながら、児童を迎える
登校時に引き返して家に戻ってしまった場合、登校班長（またはその保護者）は、家に戻ったことを学校に連絡する

登校班□班は、全員無事に家に戻ってきました。

授業中なら

- ③通学路の安全確認をしながら在校児童を引き取りにくる

6 緊急時引き渡しの方法

情報収集や通学路の安全確認を行った結果、児童が自力で下校することができないと判断した場合は、保護者等へ直接引き渡しを行う。

(1) 共通理解事項

- ・地区ごとに引き渡しをする。
- ・「緊急時引き渡しカード」は事前に配布し、引き渡し時に持ってきてもらう。持ってくることを忘れたご家庭のために、体育館にも予備を準備しておく。
- ・事前に児童はビニール袋を持参しておき、下足を袋に入れて体育館に集合する。緊急時に備えて、普段からランドセルに入れておくようにするとよい。
- ・引き取りを確実にを行うために、子どもを呼び出し、「この人は誰ですか？」と聞く。児童が「お母さんです。」などと答え、緊急時引き渡しカードと一致すれば、引き渡す。担任が引き渡しを行うとは限らないため、引き渡しを行った職員は緊急時引き渡しカードに必ずサインする。
- ・災害発生時の自家用車の利用は、大渋滞をもたらし、結果的に引き渡しを遅らせることにもなる。また土砂崩れなどによる道路がふさがり、自家用車でのお迎えが困難な場合もある。そのため、保護者には可能な限り、自家用車を利用せずに、歩きでの迎えをお願いする。やむを得ず、自家用車でお迎えに来る場合は、校内への進入を一カ所で一方通行とし、学校周辺では職員（ビブス着用）の指示に従ってもらおう。
- ・学校の電話回線がふさがり、外部との連絡が取れなくなるため、当日は、学校への電話での問い合わせ等を行わないようにご協力をお願いする。
- ・迎えが来ていない児童がいる場合、担任から家庭に連絡を入れる。

(2) 引き渡しの手順（児童待機が体育館の場合）

児童・職員	保護者
・校長・教頭・教務等で企画会議を開き、今後の流れについての話し合いをする。 →引き渡しによる下校の決定。	
【放送】（教頭） 緊急の職員会議を行いますので、職員室にお集まりください。児童のみなさんは下校の準備を始めてください。	
・児童は下校準備。 ・職員は職員室に集合。 →校長からの指示により、一斉下校を行うことの決定を伝える。 ・会議終了後、担任外で体育館の設営。（机、鉛筆、緊急時引き渡しカード）	

【放送】（久保田）

「ただ今より緊急児童引き渡しを行います。現在、～状況を伝える～（例：昨日からの雨の影響により、近くの河川の増水しています。また避難警戒レベル3が発令されています。）児童のみなさんに危険が及ぶことが考えられるので、これより引き渡しによる下校を行います。先生の指示に従って、体育館に集合してください。」

【メール配信】（教頭）

現在、山江村に避難警戒レベル3（避難準備・高齢者等避難開始）が発令されています。

緊急時児童引き渡しマニュアルのとおり、〇時〇分より児童引き渡しを開始します。児童引き渡し場所は山田小学校体育館です。配布しております「緊急時引き渡しカード」をご持参ください。忘れた場合は体育館に予備を準備しております。

駐車場は運動場となります。西側入口よりお入りください。来校の際は職員の指示に従ってください。

また、学校の電話回線がふさがり、外部との連絡が取れなくなるため、学校への電話での問い合わせ等は控えていただきますようにご協力をお願いします。

- ・下校指導。引き渡し方法についての確認。
「この人は誰ですか？」
→「お父さんです。」
- ・下足をビニール袋に入れて、体育館に集合する。一斉下校のように、地区別（登校班）で整列する。
- ・職員は体育館にてビブスを着用後、携帯電話を持って、各自配置につく。

【メール配信】（教頭）

ただ今より児童の引き渡しを開始します。体育館には運動場側後方よりお入りください。「緊急時引き渡しカード」を地区担当に渡し、児童名、お迎えの方の氏名、続柄等をお伝えください。なお、お迎えに来られるまで学校でお預かりします。なるべく早いお迎えをお願いします。

- ・児童は体育館待機。
- ・体育館に迎えに来た方から、順番に引き渡しを行う。
- ・地区担当者は、引き取り者からカードを受け取り、続柄を確認後、児童を呼ぶ。
- ・地区担当者は子どもを呼び出し、「この人は誰ですか？」と聞く。児童が「お母さんです。」などと答え、カードと一致すれば、引き渡す。
- ・保護者来校開始。
- ・体育館の運動場側後方から体育館に入る。「緊急時引き渡しカード」を忘れたご家庭には体育館で必要事項を記入してもらおう。
- ・各地区の場所に行って、地区担当へ次のことを伝える。（わかっている場合でも必ず伝えてもらう。）

<ul style="list-style-type: none"> ・受け取ったカードに、<u>地区担当はサインをする。</u> ・<u>混雑が予想されるため、隣接地区同士で協力する。その場合、カードのサインが地区担当以外になる場合もある。</u> 	<p>※児童名と引き取り者の氏名、続柄 例「3年の山田花子の父の山田太郎です。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認ができたら、児童を連れて、体育館の運動場側前方から出る。
<p>【(体育館の状況を見て)メール配信】(教頭)</p> <p>現在も体育館に児童が残っています。引き続き、学校で待機をさせますが、体育館ではなく、〇〇教室で待機させています。早いお迎えをお願いします。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き渡しができない児童の家庭に担任から連絡を入れる。 	

【職員配置】

- 全体指揮 (校長)
- メール配信・体育館出口誘導 (教頭)
- 職員室待機・電話対応 (久保田)
- 引き渡し確認チェック・引き渡し (地区担当)
(1区:高橋 2区:梅田 3区:山本小 4区:沢田 5区:西口 6区:新宮
7区:大塚 8区:上野 9区:村松 10・11・12区:須恵)
- 待機児童指導 (中野)
- 救護・緊急時引き渡しカード (金子)
- 体育館入り口案内 (川瀬、恒松)
- 正門前での車誘導 (林田) ……運動場西側から入ることへの指示
- 旧テニスコート前での車誘導 (山本和) ……運動場西側から入ることへの指示
- 運動場西側入り口 (森川)
- 運動場整理 (磯田)
- 給食対応 (田代)

【準備物】

地区プラカード、ビニール袋、机、引き渡しカード(予備)、鉛筆

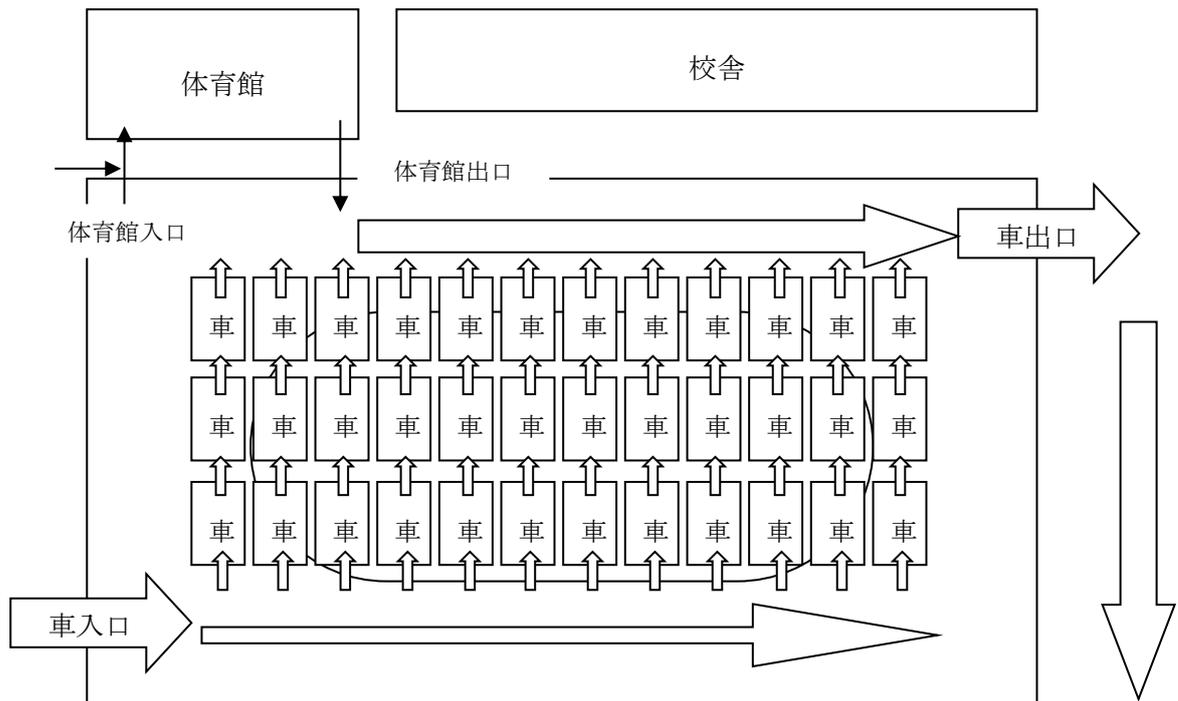
(3) 緊急時引き渡しカードについて

「緊急時引き渡しカード」は、事前に配布し、お迎えに来られた際に持ってきてもらう。忘れた場合は、体育館で記入していただく。保護者は緊急時引き渡しカードを持って、各地区のところに引き取りに行く。

山田小学校 緊急時引き渡しカード				
地区	児童学年・氏名			
	(年)	(年)	(年)	
区				
引き取り者氏名	児童との続柄	今後の緊急連絡先（電話）		対応職員サイン
		父・母・祖父・祖母・自宅・その他（ ） 電話番号		

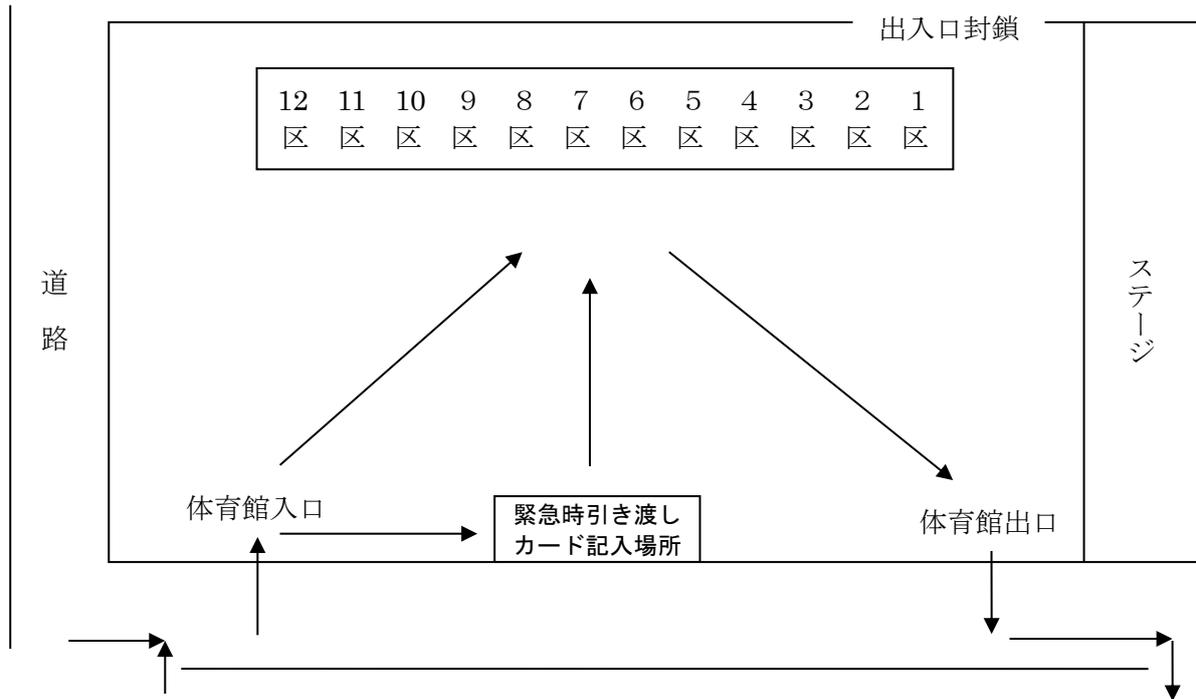
(4) 配置図

【運動場（駐車場）】



- ・運動場への駐車は、授業参観などのイメージ。
- ・運動場へは西側から入り、テニスコート側から出るように一方通行にする。
- ・車はなるべく出口付近から詰めて停めてもらうようにする。
- ・車の前方を校舎側に向けて停車してもらう。バック駐車しない。

【体育館（児童待機場所・引き渡し場所）】



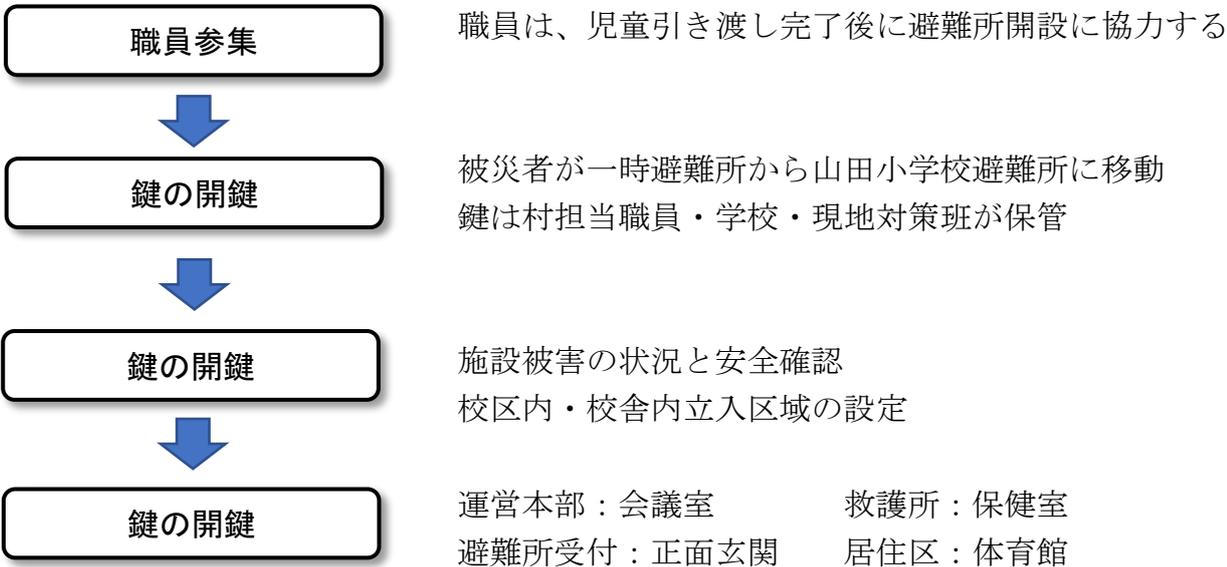
- ・運動場側後方より入り、運動場側前方より出る。徒歩でお迎えの方も同じようにしてもらおう。校舎側の出入口は封鎖する。

7 避難所立ち上げ時の協力

震度5弱以上の地震発生

まず、学校職員は保護者への
児童の引き渡しを行います

- 校庭への児童避難（荒天時：教室もしくは体育館）
- 保護者への引き渡し決定
- 保護者へのメール配信
- 保護者への児童引き渡し開始



災害発生時の学校職員参集状況（令和2年5月現在）

時間 (分)	0～30	30～60	60～90	90～120	120～
手段 歩行 	内田	西口 池田 金子	山本小 中野 沢田 村松 山本和 上野		
自転車 	高橋	梅田 磯田 大塚 川瀬	森川 久保田 恒松		須惠 林田 新宮 田代
計(人)	2人	7人	9人		4人

8 地震・風水害でのメール配信（地域・保護者と連携した防災体制）

学校安心メールにて、下校方法を一齐送信する。予め、一年生については入学式時に登録方法を説明し、登録を完了させる。また、メールに不具合が生じた場合の対応として、学校のウェブページにも同様に下校方法を掲載する。

震度5弱以上の地震の発生、台風や大雨等で登下校に危険が予想されるとき、山田小学校では次のようなメールを配信する。

登校前→前日または当日の6：30判断

登校後→状況により判断

～家庭への連絡メールの文例～

登校前

臨時休校

本日は、大地震の発生（台風接近）にともない、臨時休校とします。

遅延登校

本日は、台風接近のため、登校時刻をくり下げます。〇時〇分に登校させてください。

登下校中

児童引き渡し

本日は、大地震発生にともない（不審者侵入事件発生にともない）、児童のお迎えをお願いします。

※ 児童は学校か家庭の近い方へ避難。家庭に帰った場合は、着いた時点で学校に連絡する。登校した場合は、迎えがあるまで学校で保護する。

一齐下校

ケース1 台風接近にともない、〇時〇分に一齐下校します。

※ 地震や台風、不審者等、特に被害がない場合は、児童だけの一齐下校とする。

集団下校

ケース2（職員引率下校）台風が接近し、風雨が強いいため、〇時〇分に職員引率で一齐下校を開始します。在宅の保護者の方は、近くまで児童のお迎えをお願いします。

※ 地震や台風等で支障が想定されるときは集団下校とする。職員は、分岐点まで引率し15分間待機する。家に入れない児童は学校に連れて戻る。

引き渡し

ケース3（児童引き渡し）本日は震度5弱の地震の発生にともない、児童の下校が困難なため、□時△分から児童の引き渡しを行います。

※ 震度5弱以上の地震が起こった場合、メールが配信されなくても自動的に児童は引き渡しとなります。（凶悪事件が発生し、児童の下校に大きな危険が想定される場合は、必ずメールを配信します。）原則として引き取り人は、緊急連絡カードに記載されている方となります。

9 家庭や地域、関係機関等への周知について

PTA 総会の開催に合わせて、危機管理マニュアルについて保護者へ説明する。また、学校のホームページにも掲載する。

地域、関係機関等への周知については、コミュニティースクールの会議中で周知する。